

あ と が き

50年史編集委員長 元木 貢

30年史を手掛けてからあつという間に20年が過ぎました。初めの10年は黎明期、10周年記念号には熱気に満ちた記事が見られます。30年史では、協会としての基礎固めの時代、従事者研修会のスタート、リーフレットPCOシリーズの発行、害虫相談所の誕生、緊急災害衛生隊・感染症予防衛生隊の設置、ムシの日イベントのスタート、日本ペストロジ学会及びペストコントロール・フォーラムの開催など全国の先駆けとなる様々な事業が紹介されています。また、平成10(1998)年の感染症法制定、翌1999年には100年続いた伝染病予防法が廃止となり大きな節目となりました。この20年は協会発展の時代と言えるのではないでしょうか。平成10(1998)年に発行した「ゴキブリ防除基準」がIPMの先駆けとなり、平成14(2002)年のIPM宣言、建築物衛生法の省令・告示の改正、平成20(2008)年の維持管理要領・マニュアルに繋がり防除法が薬剤依存からIPMへと大きく舵がきられました。感染症法の制定により行政のそ昆担当者が減少したこともあって、害虫相談はこの20年で5倍に増加、感染症の防疫作業、媒介昆虫の駆除作業にも頻繁に出動するようになりました。社会貢献度が格段に増したと思われます。社会もITやAIで大きく変わろうとしています。そこで、「この20年で何が変わったか、これからの20年でどう変わるか」をテーマに座談会を行いました。この20年の大きな変革とこれからの20年の期待と不安が汲み取れるのではないでしょうか。

記念誌編集にあたり、編集委員の皆さま、理事の皆さま、会員の皆さま、座談会の編集をいただいた田中翼氏、全体の編集にご尽力いただいた協立印刷社の栗原一幸社長、小林久見子氏、並びに協会事務局の皆さまに厚くお礼申し上げます。